

「信号通信技術交流会」を開催しました

平成28年10月20日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「信号通信技術交流会」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研は、去る平成28年10月13日に信号通信技術分野の研究開発成果、特に開発製品やサービスをご紹介する事を目的として「信号通信技術交流会」を開催し、鉄道事業者を中心に50社、206名の方にご参加いただきました。本会は、講演会および成果展示で構成され、講演会では、信号・情報技術研究部長 平栗滋人による展望講演「信号通信技術の展望」をはじめとする5件の講演により、近い将来に実用化を目指して現在取り組んでいる研究課題についてご紹介いたしました。講演後には、実用化に向けてのプロセスや見通しについてご来場者からご質問をいただき、質疑を行いました。

また、ミニセッションでは、「無線回線設計支援ツール (RADTRACE-Lite)」など実用レベルに到達している開発成果を中心とした5件の展示を行いました。各展示において開発担当者にご来場者との間で熱心な質疑が行われました。

1. 開催日時：平成28年10月13日(木) 14時30分から17時30分
2. 場 所：鉄道総研 国立研究所 講堂、インタラクティブスクエア

3. プログラム

●講演会

「開会の挨拶」

専務理事

高井 秀之

(1) 「踏切安全性向上のためのセンシング・制御技術」

信号・情報技術研究部 信号システム 研究室長

新井 英樹

(2) 「新しい地方交通線向け列車制御システム」

信号・情報技術研究部 信号システム 主任研究員(上級)

寺田 夏樹

(3) 「転てつ装置設計のためのシミュレーション技術」

信号・情報技術研究部 信号システム 副主任研究員

潮見 俊輔

(4) 「鉄道におけるミリ波活用」

信号・情報技術研究部 ネットワーク・通信 主任研究員

中村 一城

(5) 「信号通信技術の展望」

信号・情報技術研究部 研究部長

平栗 滋人

●ミニセッション

- (1) 特殊信号発光機の検査システムおよび設置支援ツール
- (2) 慣性センサと速度発電機を併用した車上位検知方式
- (3) 転てつ機のロック狂い予測
- (4) 無線回線設計支援ツール (RADTRACE-Lite)
- (5) 誘導障害シミュレータ (CSIRE)



写真 講演会の様子（於 鉄道総研講堂）



写真 ミニセッションの様子（於 鉄道総研インタラクティブスクエア）